



# 会報

## WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3086回 例会報告

2023.9.1

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 石岡 幸雄 会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング (四つのテスト)
- 9月誕生祝
 

白井 呉行 会員	S22.9.4	神田 京介 会員 (敦子様)	9.8
夷石 行夫 会員	S24.9.4	南出 雅樹 会員 (恵美様)	9.13
細川 吉博 会員	S33.9.5	渡辺 省一 会員 (幸希様)	9.18
稗貫 秀次 会員	S34.9.8	伊藤 隆志 会員 (美智代様)	9.19
石割 昭浩 会員	S35.9.6	松原 光一 会員 (千秋様)	9.24
斎藤 政樹 会員 (智子様)	9.5	砂金 康弘 会員 (祐希様)	9.30
- バースデーソング
- 乾杯
- 会長挨拶 石岡 幸雄 会長



皆さんこんにちは。  
この後、ご紹介しますが、今日から新メンバーが入会されます。先週の夜間例会でオブザーバーとして参加して頂いたので、すでに知っている方もいるかと思いますが、

当クラブ最年少の45才です。会員数が64名となりますが、今後も会員増強よろしくお願い致します。

さて、今月はロータリーの友月間となります。以前にも、お話しさせて頂きましたが、ロータリーには、3つの義務があります。1つは、会費の納入、2つ目は、出席の義務、そして3つ目が、ロータリー詩の購読です。皆さん、毎月、ロータリーの友を読んでくれているでしょうか？私は、細川会員がガバナーの時、地区のロータリーの友委員会の委員長をさせて頂きましたが、それまでほとんど読んだことがありませんでした。その1年間だけは、毎月購読レポートの提出がありましたので、必死に読みましたが。

RI公認のロータリー詩は世界に30詩以上あり、アメリカの1911年創刊のロータリー詩は50万部、少ない部数ではブルガリアの1500部。日本のロータリーの友は、1953年に創刊され、今年で70年になります。発行部数は87200部、1部275円で年間12部ですから、1人3300円で、年3億近い収入となります。

皆さん、ロータリーの友を読んでいて不思議に思った事はありませんか？両方に同じような表紙がついており、左から読むと横書き、右から読むと縦書きになっています。これは、もともとは、横書きだったので、俳句や川柳などの掲載が横書きでは難しいので、1972年から縦・横に分けて掲載しているとの事です。

この機会に、一度、ロータリーの友を是非読んでみてください。日本のロータリアン、世界のロータリアンの考え方や行動が、詳しく書いてありますので。これで会長挨拶を終わります。

- 会務報告 南出 雅樹 幹事
  - ①国際ロータリー第2500地区ローターアクト 第30回地区協議会 ご協力の依頼
  - ②2023-2024年度クラブ概況の修正箇所のご案内

- 新会員紹介 大浦功之 君 紹介 推薦者 松岡真勝 会員
- 委員会報告 松岡 真勝 社会奉仕委員 「古着 de ワクチン」取り組みのご案内

- ニコニコボックスの発表 萩原 敬一郎 副会長
  - ・誕生日に記念品を頂き有難うございました。細川 吉博 会員 稗貫 秀次 会員
  - ・誕生日に記念品を頂き有難うございました。また、先週の職業奉仕の例会参加していただき有難うございました。深井 弘美 会員
  - ・誕生日に記念品・結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。娘に初孫が生まれました。女の子です。南出 雅樹 会員
  - ・妻の誕生日に記念品を頂き有難うございました。伊藤 隆志 会員
  - ・残暑見舞い 長谷川道正 会員
  - ・大浦さん入会おめでとうございました。石岡 幸雄 会員
  - ・本日より新入社員の大浦が入会します。宜しくお願いします。松岡 真勝 会員
  - ・家族会では夫がお世話になり有難うございました。廣瀬 允乃 会員
  - ・本日は貴重な時間を頂き、私の話を聞いていただき有難うございました。近間 正美 会員
  - ・本年、会社60周年になりました。林 学 会員

■プログラム 曾我 浩昌 プログラム委員長  
【新入会員卓話】 近間 正美 会員  
皆さん、こんにちは。先ほどもお礼を言っちゃいましたけれども、今日これからお話をさせていただく機



会を設けていただきまして、誠にありがとうございます。えー、簡単にですけれども、わたくしの方からですね。時間の許す限りお話をさせていただきたいと思っておりますのでご清聴の方、よろしく願いいたします。

まず簡単に自己紹介ということで、この前、あの入会の時にもお話させていただきましてけれども、生年月日は1964年の10月4日ということで、今年59歳になります、家族の方ですね、妻と娘2人とすることで家は札幌ということですので、帯広の方には単身赴任とすることでございます。

学校は帯広工業高校の電気科の二回生とすることで、高校卒業しまして、現在の財団法人北海道電気保安協会に入会して現在に至り、振出しは釧路の方で勤務をしまして以降、札幌・弟子屈・岩見沢・帯広とすることで約40年ぐらいに勤務していると言うところでございます。あんまり趣味もありませんので、これ以上ご披露することがないですから、これ以降は私共の保安協会がどんなことをやってるのかとすることを少しです。ご紹介をさせていただきたいと思っております。で、ちょっと音楽が流れますので、びっくりしないでください。北海道電気保安協会というあのコマースルのです。このサウンドロゴはお聞きになった方いらっしゃるんじゃないかなと思っております。アンケートなんかも取ります。取りましてもですね。このサウンドロゴの電気保安協会っていうのはわかるんですけど、何をやってるんですかっていうと、なかなか分かってらっしゃらない方が多いので簡単にご説明をさせていただきたいと言うふうに思っております。その前にですね、我々電気事業に携わる者として一番重要視しているところをちょっと触れさせていただきたいと言うふうに思っております。我々電気に携わる者で、やっぱり起こしてはいけない事故ということで大きく分けると三つほどございます。

まず電気で火災を起こさない漏電したりショートしたりですね火災を起こさないようにしましょうと、それから二点目は感電負傷事故、ビリビリときて怪我をしたり、場合によっては死亡事故に至るとこれは絶対避けなければなりませんと言うことでございます。それから三点目はちょっと聞きなれないんですが、波及事故と申しまして、まあ簡単に言いますと自分の設備が故障して人様に迷惑をかけないようにしようということがですね。われわれ電気事業とか電気の保安に携わる者として一番重要視している内容でございます。で、そもそもですね、この電気の事故防止に対する基本的な考え方っていうのは皆さん、どんな生活して法律があるかと思っておりますけれども、そもそも電気事業法で電気業界とかですね、そういう法律がございます。この中で自主保安、自分の設備は自分で守ると当たり前のような言葉ですが、まあこういうことが基本的な考え方です。では、それぞれご家庭や商店とかは電圧が100ボルトと200ボルトとで使われている方々は言うふうには設備を守るんだということですが、これ本来ですね個人個人が定期的に検査をして漏電してないかとか危ないところじゃないかって

調べるのが基本的な考え方なんですけれども、皆さんのご家庭に私共の職員が回らせていただいております。ですけれどもこれは本来、個人個人が定期的に検査をし漏電してないかとか危ない所がないか調べるのが基本的な考え方なんですけれども、当然のごとく電気の知識に詳しい方というのはほとんどおりませんですから法律としては電線路維持運用者とちょっと難しい名前ですが、まああの平たく言うと北海道電力のネットワークですね、法律としてですね。それぞれの皆さんの安全調査を行わせなさいと言う法律になっております。それから自社ビルなんかを持たれてまして、ビルとか工場とか大きい設備ですね6600ボルトを100ボルトとか200ボルトに変換して使ってる方ですね。国家資格である電気主任技術者という方を選任して専門に診てもらってくださいという法律になってます。ただ、この電気主任技術者という国家資格はなかなか持つての方がいらっしゃるじゃないので、資格を持っていないければ資格を持つている個人の方ですとか、私共のような電気保安法人っていう会社の方にですね、委託してもいいですよと、こういうような法律の立て付けになっております。

じゃあ私共の保安協会はこういうことをやっているかということで三点ほどあります。まあ、先ほど言った調査業務と言いまして、電線路維持運用者・北海道電力のネットワークさんからお仕事をいただきまして、皆さんのご家庭の電気の安全調査を行っております。これも法律で四年に一回必ずやりなさいと言うふうに決まっておりますので必ず皆様のご家庭に私共の職員が回らせていただいております。近年在宅、昼間しかやりませんので在宅のお客様がいらっしゃることも多いんですけども、そういう場合、ご不在でも電気のメーターとか、電線引き込み口で漏電してるかしてないかっていうのはわかりますので必ず郵便受けにその調査の結果ですとか、パンフレットこういうものを置いております。それから保安の方は、先ほど言ったビルとか工場の点検をさせていただくと言うことでございまして、こういう電気の主任技術者を選任しなければならない。お客さんっていうのは北海道の中で約5万件ぐらいあります。そのうち外部委託、他に任せてもやってる会社さんが4万件ぐらいということになります。そのうち十勝管内で私共はですね約2500件ぐらいのお客様とご契約させていただいて電気の保安の仕事をさせていただきたいということになっております。それからもう一つは広報業務ということで、今日のように電気の安全な使いかたや省エネルギーなどの普及啓発こういうもののお仕事をさせていただいてますので、今日こういう機会を与えていただいております。で、ちょっとここからはですね、小ネタを一つ二つほどお話させていただきたいと思っております。皆さんの自分の設備と北電さんの設備の境目っていうのはご存知でしょうか。一軒家を例にしますと建物がありまして、北電さんからの電線が来ています。ここで軒下の北電さんの電線の接続部ここが境目です。そして建物で言うと北電メーターと分電盤に安全ブレーカーというのが



ついてるんですけど、これが北電さんの施設でそれ以外は全部お客様の設備です。ですから、たまにですね。あの建物の壁の配管が取れてますよって、私共点検で指摘をしますと、これは北電さんのじゃないですかっという質問もあるんですが、全部自分の設備です。まあ、こんなような形になっておりますので、ちょっと覚えていただければというふうに思います、で一つ電気の設備で不良の例と言うことですが、先ほど言いました。北電さんの電線と軒下で繋いでる部分ここがですね、電線被覆がちゃんとこうかかっているんですが。経年劣化古くなったり、直射日光があつたり上がったりしますと、だんだんこの被覆がボロボロになってくるんですね。そうすると電線が裸になってきまして、まあ強い風とかで揺られてショートするとか、建物にふれて漏電をするとか、それから状況にもよりますけれども、建物の外装壁塗りをする時、ビルを塗り直す時に足場を組みますよね、そういう時にです知識のある業者さんがこういうところをちゃんとカバーをかけるんですけども、知識のない業者さんはこのまま足場を組んで業者の方がですねこの電線と足場に触って感電されると過去には死亡事故もあつたというふうなこともありますので、まああまり軒下を見る事もないんでしょうけども、こんな事故もありますということで注意してください。それからご家庭の中でこんな使いかたしていませんか？ということで今日は電気は正しく使いましょうというパンフレットありますけれども、この中から抜粋してありますので、後ほどご覧になっていただければいいのかなというふうに思います。特にここに書いていとあります。プラグがコンセントにしっかり差し込む、中途半端に差し込むと接触不良で熱があつたり、そこの中途半端な所に埃がたまって湿気がついて火が付く、俗に言うトラッキングっていうんですけど、こう言う様な事故ありますので是非柵の裏とかにコンセントとかでよくありますので、たまに見ていただければいいのかなとこんなふう思っております。

感電事故防止のためにということよくアースをつけてください。それから漏電遮断器をつけてくださいという話をします。これを二つやることでですね感電する怪我がかなりが相当ですね。防げると言うことでございますので、要は電気漏電したら自分の体を通さないで逃がしてしまうアースで逃がしてしまう、仮に感電しても零点何秒かで落ちる遮断器で電気を切っちゃってこういうようなことがですね。完全負傷事故の防止になりますので是非この辺ですね特に200ボルトで使われる電気ですとか、軒下や屋外に置かれた自動販売

機、それから洗濯機とかそういうものについてはですねアースと漏電遮断器っていうのをセットにさせていただきたいと思っております。そして今日は9月一日の防災の日と言うことでございますので防災の関係ということで停電した時にどうしますかというようなことでございます。停電したらですね。まずあの自分の家が夜だと真暗になりますけれども、周りをみてくださいということです。で、周りも暗かったら北電さんの方の停電だと言うことですので少し時間をおいて待っていただく、でも他が点いているのに、自分の家だけ停電だと言うことであれば、ブレーカーとかヒューズが切れている可能性があるんで、チェックをしていただければという風に思います。まあ、切れる原因はいろいろ電気の使いすぎとか色々あるんですけども、そこが分ればすぐ復旧できるのかなと、それでもダメな場合は、まあ北電とかのサービ、ネットワークセンターに電話してみると言うのも一つの手かもしれません。あと地震の関係ですね。よく地震が来たらコンセントからプラグを抜いてっていうふうに言われると思います。こちらの方ですねプラグ入れたまま避難すると勝手にスイッチが入って通電火災と言うようなことになります。それから避難するときにはブレーカーを切っていただくということで、そういう火災が防げると言うことになっております。あとビルと工場の省エネ省までについてということなんですけど、ちょっと専門的なのでここはですね簡単に言うと電気料金というのは一般の方は安全ブレーカーですけど工場とかは30分間の平均電力でその基本料金というのは決まりますので、まあそういうものをどういうふうにセーブして行くかっていうことが省エネにつながるということなんですけど、どういう使いかたをしてるかわからないということであれば、こういうモニターをつけてですね、自分たちの電気を使っている状況を見てですね、節電してはどうでしょうかということになっております。こちらの方にいろいろやった事例を乗っております30分間の平均ですから、その時間を見ながら冷房のスイッチを入れたり切ったり、そういうようなことを工夫したとかですね、そういうことで冷房の温度28度に一定にさせたと、まあ、そういうような事例をしておりますので是非やっただければという風に思います。ちょっと時間もしてまいりましたので、これで。簡単ですけども、電気を正しく安全にそして賢く使っていただきたいということをお願いいたします。でですね。

わたくしのお話を終わらせていただきたいと思ます。ご清聴ありがとうございました。

■ 次週のプログラム予定

「ゲスト卓話又は会員卓話」

■ 閉会宣言

■ 点鐘

石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21  
 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館  
 〈火曜日〉 芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル  
 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■ 出席報告 / 長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイクアップ	欠席	出席率
64		36			61%